



AA日本ニューズレター

No.187

2017年に行われた周年行事特集

2017年は例年になく周年行事が多い年となりました。イベントカレンダー(BOX-916 2017/01~12)に掲載された“周年”が付く全国のイベントは、2/19(日)東京都・荻窪グループ9周年の集い、5/6(土)岩手県・盛岡グループ30周年記念OSM、5/14日(日)山口県・下関グループ29周年記念オープンミーティング、8/13(日)神奈川・寿グループ33周年OSM、9/1(金)~3日(日)2017年北海道地域RUP&40周年記念集会、9/30(土)~10/1(日)沖縄地区30周年記念集会、10/15(日)福岡県・いとしまグループ20周年OSM、10/15(日)鹿児島地区35周年OSM、11/4(土)栃木県・佐野グループ11周年OSMでした。その中から何件かご投稿くださいましたので、どうぞお読みください。日本のAAの広がり感じていただければ幸いです。

AA北海道地域40周年記念 ラウンドアップを振り返って

北海道地域 ツキサップG ひろき

9月1日(金)~3日(日)AA北海道地域40周年記念集会在ラウンドアップと併せて「私たちの原点~AAと仲間に感謝して~」というテーマで開催され、100名以上のメンバーが参加しました。聞くところによると、北海道は東京に続いて日本で2番目にAAのメッセージが届いたということです。

残念ながら、ここ数年はサービスメンバーの不足が解消できず、評議員をはじめ地域委員会・オフィス運営委員会等が、少ない人員で何とかやりくりしているような状態です。

そういう中での40周年イベントの開催はなかなか大変なことでした。でも実行委員会をはじめ、イベントを盛り上げてくれた仲間たちは本当に頑張りました。

北海道のAAと関わりの深い関係者の方々をお招きし、これまでの感謝を伝え、これからの展望をお話いただきました。各種ミーティングにも工夫を凝らし、また有志を募って北海道の初夏の風物詩である“よさこいソーラン”を踊り、関東・沖縄の仲間も巻き込んで顔にペイントをしての大発表会(?)となりました。その時の写真は今でも時々見て笑っています。

いつも思うのですが、こういうサービスをやる人は必ず受け取るものがあるということです。やったもん勝ちですよ。

改めて振り返ると、40年前に北海道にAAを運んでくれた外国人のメンバーがいて、彼かとても苦勞をしてミーティングを続けてくれたおかげで、今の私たちが飲まないで生きる喜びを得られているわけです。

そのメッセージを10年、20年、その先の未来へと届け続けられるようにしていこうという気持ちで、新たに確認できた三日間のイベントでした。関わっていただいたたくさんの方々に感謝します。

盛岡グループ30周年記念OSM テーマ:信じるようになった

東北地域 盛岡G 藤原

1987年3月に盛岡グループが誕生し今年で30年となり毎週日曜日に使用しているアイーナ(公共施設)で5月6日に記念OSMを開催しました。

設立当初の状況は当時を知る仲間が亡くなったりしてはっきりしません。残されている資料によると設立直後5月24日に行われたセミナーのことが「風土計」という地元紙のコラムに載っています。私がはじめてAAミーティングに参加したころ(1989年ごろ)岩手インターグループ・オフィスの当番のことを話し合っているのを聞いた記憶があります。1991年12月にオフィスは閉鎖し、それに伴って生じた負債を2年かけて献金のなかから返済したと古い仲間から聞きました。

今回の集まりには岩手県精神保健福祉センター、障害保健福祉課、盛岡保健所の職員の方々をはじめ、AAの友人、家族、AAメンバー90名ぐらいの参加者となりました。関西在住の元盛岡グループのメンバーと県南出身のAAメンバーが司会をしてくれました。

「信じるようになった」というテーマは不信感のかたまりだった私たちが、現在何かを信じることができるようになったのだろうかという自問。そして身近な人たちに自分たちの成長を通して何らかのプラスの寄与をしているだろうか。それらを確認したいという思いがありました。

大きなイベントで得られる共感とパワーの実感も良いのですが、通常のグループの活動が大事だという思いを強くしました。盛岡グループは週2回のミーティングを開いています。火曜日の夜7時からグループ設立当初からの会場である四ツ家教会でクローズドミーティングを日曜日の午後1時半からはアイーナでオープンミーティングをしています。

私自身、荻窪グループに入れて戴いたのが2015年8月なのですが、ソブラエティーはグループの歴史とほぼ同じ、2008年4月からです。私から見た荻窪グループの特徴は、とても真面目なグループだということです。

立ち上げメンバーの一人がサービスに精通した仲間で、B類常任理事の任期を終了したすぐ後にこのグループを開始したということもあり、サービス活動に参加する仲間が多くいることも特徴です。

サービス活動での関わりもあって遠方から来て戴ける仲間も多く、感謝しています。また、スポンサーシップをしっかりとってステップワークに取り組んでいる仲間が多いと思います。これはミーティングでの分かち合いを充実したものにしています。だからといって異質のものを排除することもなく、グループの棚卸では前向きな話し合いが行われます。

2018年にはいよいよグループの10周年を迎え、2月18日(日)に感謝の集いを開催する予定です。私自身、グループの存続と発展に寄与できればと考えております。

末筆ですが、皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げますと共に、機会があればぜひ荻窪グループのミーティング、感謝の集いにご参加戴ければと思います。

寿グループ33周年セミナー「飲まないで生きる…仲間に感謝…」

関東甲信越地域 寿G GON

平成29年8月13日に、横浜市社会福祉センターにて行われたOSMには250名以上の仲間の方に参加していただき、熱気のあるスピーチに聞き入っていた様子でした。参加された皆さま、お手伝いをしてくださった皆さま、本当にありがとうございました。今回、初めて使う会場で戸惑いもありましたが、どうにかグループメンバーが一丸となって無事に終了することができました。

寿グループは、33年前、山手にある教会のミーティングから始まりました。当時のミーティングは怒号や灰皿が飛び交うようなミーティングだったと聞きました。寿の街と仲間は、私にいろいろな気付きをくれました。飲んだくれて寝転がっている人が多数いました。悲惨だった頃の私を思い出させてくれます。私を初めてのメッセージに誘ってくれた仲間も、病気の怖さを死をもって伝えてくれました。私がAAにつながついて、寿グループの中で過ごしてきた時間は、いつの間にか5年も経っていました。その中で得たものは、自分だけでは気が付けなかっただろう、今の生き方でした。

今年のOSMも仲間からいろんな姿の気付きをいただきました。どうしようもなくなって、寿の街でしか生きていけなくなった多くの仲間が壇上に立ち、飲まないで生きることがいかに難しいことで仲間との分かち合いがなかったら気が付かなかったことや、OSMを最後にグループから巣立っていった仲間が、一人ではどうにもならな

ったことや仲間が助けてくれたことなど、飲まないで生きること、仲間への感謝の言葉を話してくれました。

気がつかなかったら周りを恨むことしかできない生き方がずっと続いていたと思います。地道に生きることが難しかった私も、一歩ずつ歩くことを覚えました。寿の街と長きに渡りかかわるAAの友人の話として、寿日雇労働者組合の近藤氏から、寿のドヤ街と労働者とお酒の関係、自立支援施設「はまかぜ」の市原氏から、横浜市内のホームレスの方との関わりとアルコールとどう向き合ってきたかを聞くことができました。お二人には、寿グループのほとんどの仲間がお世話になったことと思います。

私が今、仲間が一番感謝していることは、誰かを恨まなくて済むことと、今生きていられることです。もう一度、前向きに生きることができるとは考えてもいませんでした。これからも、感謝の気持ちを忘れずに歩いていきたいと思っています。

多くの人たちに支えられた20周年を終えて。

九州沖縄地域 いとしまG ヤマ

「成年に達して～感謝～」をテーマに去る2017年10月15日に、20周年記念のオープンスピーカーズミーティングを開催したところ、仲間をはじめ、医療や行政関係者、家族と、多くの参加をいただき、盛大な催しとなりました。保健所や市役所の職員様等、関係者の方々も多く参加していただきました。病院のスタッフの方々には特に多く参加していただきました。この理由の一つには、いとしまグループの発足当時の状況にあるような気がします。

グループを立ち上げることを決断したのは、まだ入院中の時でした。AAミーティングには数回参加しただけ、サービスについてはほとんど分からない、そんな状態で退院をして行動を起こすにも何らかの手を付けて行けばよいのか。

仲間に相談しようにも、地区委員会は機能しているのか分からない、メンバーも活動しているのは5名程度で、十分に分かち合いができないような八方塞がりの時、言葉に表せないくらいの協力をいただいたのが保健所の保健婦さんでした。

保健婦さんは自分のことのように走り回ってくれました。ミーティング会場の相談に役所に行ったとき、AAの説明があまりできない私に代わり、わかりやすく丁寧に説明していただいたおかげで、役所も納得し、ミーティング会場を借りることができました。

こうして、グループ立ち上げも決まり関係する皆様にチラシを配布する段階で、警察署に挨拶に伺うと、新進気鋭の宗教団体のよう扱われてしまいました。今になっては笑い話で済みますが、当時は大変でした。

ミーティングが始まると病院のスタッフも毎回参加していただき、ホームグループメンバーも多い時で37名を抱えるまでになり、グルー

ブを分けなければならない時期もあり、順調に成長できたのも、関係者を始め仲間のおかげです。成年に達した今、グループとして何が最良か、いただいた感謝の気持ちをどう返していくか、分かち合い良心をそろえ実行に移していかなければと考えています。

「沖縄地区30周年イベント」を終えて

※九州沖縄地域『酔属ニュース 11月号オフィス便り』より転載

+++++

沖縄地区30周年イベント 実行委員長 首里G トオル

沖縄地区では、9月30日、10月1日の2日間、「飲まないで生きる」をテーマに「沖縄地区30周年イベント」を開催しました。

1日目の30周年集会は、ワークショップ、オープンスピーカーズミーティング、ウェルカムミーティング、2日目はビーチでの懇親会&バーベキューを行いました。

両日とも天気に恵まれ県内外のメンバー、他機関関係者を含め100名以上の参加がありました。

オープンスピーカーズミーティングでは、県内の仲間はもちろん、県外の仲間、通訳を介しての在沖英語グループのメンバーなどバラエティーに富んだスピーチを聞くことができました。このことは、メンバーでない依存症者、関係機関の方々にも、AAの多様性を知ってもらえるよい機会にもなったと思います。

ウェルカムミーティングでは、沖縄地区の各グループが自分たちのグループの紹介をするコーナーがあり、それぞれ趣向を凝らして発表しました。歌あり、ダンスあり、最後は三線の弾き語りにもせて参加者全員でカチャーシー(祝いの座などで踊られる沖縄の踊り)で盛り上がりました。

2日目のバーベキューも和やかな雰囲気、思い思いに仲間と語りあうことができ、成功裏にイベントを終えることができました。

この30周年イベントの中で、先ゆく仲間たちから沖縄地区AA草創期の話を、聞くことができました。当時の様子など初めて聞くことも多く、興味深いものでした。AA沖縄地区発足に際して、県外の仲間がメッセージを運んでくれたこと、在沖の英語グループの仲間がミーティング会場の確保に協力してくれていたことなどを学びました。

沖縄の立ち上げメンバーはもとより、たくさんの仲間たちの協力のおかげで、現在の沖縄地区があるのだと感じ、その上に自分のソーバーも成り立っているのだと、改めて感謝の念を抱きました。

イベントで普段お会いすることの少ない県外のメンバー達と交流することができたことも嬉しいことでしたが、沖縄地区のメンバーが力を合わせ、一つの物事成し遂げることができたことにも大きな意味があったと思います。

運営に関わってくださったみなさん、参加して下さったみなさん、サポートして下さったみなさん本当にありがとうございました。また、沖縄でお会いしましょう！

■JSOより

アメリカ/カナダGSOよりご挨拶申し上げます。

+++++

このたびは、国際出版基金に3,000ドルを献金していただき、ありがとうございました。日本のAA共同体の献金という自己犠牲のおかげで、世界中にAAのメッセージを届けることができます。

もっとも新しい翻訳版ビッグブックは、ラトonga語(クック諸島)です。ビッグブックは現在、70の言語に翻訳出版されており、完成を待っているものもあります。

ビッグブック以外のAA書籍となると、90の言語を越えています。

これらはすべて、AAのメッセージを運ぶ活動に物心両面で貢献される、みなさんからの直接的な努力の賜物です。

AAのメッセージを受け取った方たち、そしてアメリカ/カナダ常任理事会を代表して、みなさんの国境を越えたメッセージ活動に心より感謝を申し上げます。

アメリカ/カナダGSO国際担当デスク
メアリー

『ワールドサービスのための12の概念』 修正のお知らせ

+++++

表紙にある紹介文の終わりから3段落目に概念1、4、5、9、12とありますが、正しくは、概念3、4、5、9、12です。1ではなく3が正しいです。

JSOの在庫は修正が完了し、次回増刷分は訂正して発行いたします。つきましては、お手元にある当該書籍の修正をお願いいたします。

みなさまには大変なご迷惑と混乱を招いてしまい、誠に申し訳ありませんでした。

JSO

編集：ニューズレター編集委員会・発行：NPO法人AA日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋4-17-10 土屋ビル3F Tel:03-3590-5377 Fax:03-3590-5419

<http://www.aajapan.org> jso-1@fol.hi-ho.ne.jp

(月～金)10:00～18:00 (土・日・祝) 休